

2021年度 社会福祉法人光摂会 事業報告

●法人事業報告について

1、各事業所の実績について

事業所	登録者数		1日平均利用者	
	2021年度	2020年度	2021年度	2020年度
摂津交流センター バクの家	36名	40名	25.17名	27.91名
ハッピーワールド	16名	18名	14.67名	15.17名
バクのパン屋さん (バクかふえ含む)	21名	21名	14.7名	15.91名
光摂ホーム	13名	13名	11.64名	12.38名
摂津障害者生活支 援センターはぁね す	89名	76名		

*登録者は、2022年3月末現在。

*1日平均利用者は、2021年3月と2022年3月の1ヶ月間で比較。

2、目標についての振り返り

(1) 運営について

① 全ての日中事業所の利用者数を増やします。

・今年度も、摂津支援学校合同事業所説明会への参加や、Twitter等や機関紙（ひこうせん）を活用して、不定期であるが各事業所の広報活動を行った。日中事業所で2名の方と利用契約を結ぶことができたが、広報活動がきっかけとなり利用に繋がった方はいなかった。この間は、単発的な広報活動を行っており、継続的に広報活動を実施していくことや、広報活動から利用に繋がる具体的な取組を実施していくことが必要だと考えられる。

② 全ての日中事業所において年間休日開所スケジュールの作成を行います。また、休日開所における各事業所の負担を法人全体で支え合う仕組み作りを進めます。

・年度始めに、法人全体の年間休日開所スケジュールを作成した上で、応援職員の募集を行った。年間を通じて、多い事業所では22日の休日開所を行い、年間応援職員数の累計は36人となった。今後も、休日開所日数の多い事業所に負担がかからないよう取組を継続していくことが必要だと考えられる。

- ③ 情報通信技術の活用により業務の効率化を図ると共に、災害等が発生した場合においても、迅速な対応が行える仕組み作りを進めます。
- ・今年度、法人内で発生した、新型コロナウイルス感染症による休所の際に、ZOOMを活用した会議の開催や、LINE等による情報共有等を通じて対応に当たることができた。今後は、情報通信技術を更に取り入れて、災害時等の職員に対する安否確認や、早期に事業所を復旧する仕組み作りを進めていく必要があると考えられる。

(2) 事業について

- ① 「地域交流室」単独での事業計画作成を始めます。
- ・今年度より、地域交流室で作成した事業目標に沿って事業が実施された。また、阪急立体交差事業に伴うバクかふえの移転への対応では、地域交流室が中心となって、わたバ会会議を定期的で開催することで、情報共有や3法人の今後の展開を協議することができ、事業譲渡や、(仮称)複合福祉施設わたバ建設に向けた道筋を作ることができた。
- *わたバ会会議：有限会社たんぼぼ、特定非営利活動法人わかば共同保育所、光撰会の3法人で開催している会議

- ② ハッピーワールドの老朽化に伴う移転に向けた計画案を作成します。
- ・物件の見学や、オーダーリース制度を利用した物件の見学などを行った。また、取引関係企業へ土地や物件情報提供の依頼等を行った。なお、ハッピーワールドの再アセスメントを行う中で、「事業所が何を目的とするか」を改めて考え直す必要があることも分かった。計画案を作成するには至らなかったが、事業所の目的を明確にしていくことや、阪急立体交差事業に伴う移転等の対応を検討する中で、ハッピーワールドの新たな方向を打ち出していくことが可能だと考えられる。

(3) 人材育成

- ① 理念本と実践を結ぶ仕組み作りを行います。
- ・年度始めから、ヒヤリ・事故・苦情集約会議が中心となり、理念本具体化の取組を開始した。具体的には、理念本に記載している「職員さんをお願いしたいこと」から、毎月1つを目標として、職員に実践してもらい、各事業所から好事例等を集める取り組みを行い、「職員さんをお願いしたいこと」8項目の全てについて事例を集めることができた。今後は、集まった事例を新入職員等と共有していく必要があると考えられる。

② WEB研修等も開催し、職員の「学びの場」を増やします。

・年度始めから、事務局の中で研修担当者を選任し研修テーマや研修教材などの作成を行った。今年度は、特に「基本」を主軸とした研修を実施し、一つの研修が5分から10分程度で終了する隙間時間を活用して研修を受けられる研修動画を計14本作成した。また、虐待防止に関する動画も2本作成し、各事業所の都合の良い時間に研修が行えるようにした。対面研修が実施できなかったことや、「基本」を主軸として研修を行ったことにより、現場での悩みや困りごとに対して、すぐに役立つ研修を行えなかった。基本も大切にしながら、より現場に沿った研修が実施できる仕組みが必要だと考えられる。

(4) 労働条件

① 生活支援系事業における夜間・休日の電話対応について処遇の充実を図ります。

・4月から、就業規則を変更し、「業務携帯所持手当」を創設し、生活支援系事業所における、夜間・休日の電話対応について手当の支給を始めた。また、昨年度は、各事業所内における業務用携帯の所持日数が、一人の職員に偏る傾向があったが、今年度は、月ごとの業務携帯所持日数をみても、一人の職員の所持日数が突出して多いことは少なくなっている。今後も、業務用携帯の所持状況等を定期的を確認しながら、夜間・休日の電話対応の処遇については検討を続ける必要があると考えられる。

② 2019年度に作成した俸給表に沿った定期昇給を行います。

・4月に、常勤職員については、1等級（平均月額2,000円）の昇給を行い、非常勤職員については、時給（5円）を昇給している。安定的に原資を確保しながら、職員が安心して長く働き続けるための環境の一つとして、今後も処遇改善を実施していく必要があると考えられる。

● 摂津交流センターバクの家について

1、事業の目標の振り返り

(1) 2022年度の（バクの家・くつろぎ）統合に向けて検討をする。

- ・バクの家・くつろぎの統合に向けて、休日開所やお楽しみ会・茶話会などのイベント時に一緒に活動をおこなった。また、内職など日常的にも交流を深めることができた。
- ・工賃規程がそれぞれにあり、統一するための見直しをおこなった。
- ・作業や余暇活動のプログラムの見直しは不十分であった。今後も継続的に検討をしていく必要がある。

2、ヒヤリ・事故・苦情の振り返り

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ヒヤリ	8	20	30	27	17	22	
事故	1	1	1	2	1	0	
苦情	0	0	0	1	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ	17	23	23	17	19	14	237
事故	0	1	6	7	2	0	22
苦情	1	0	0	1	1	0	4

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリについて

- ・障害特性による行動障害やこだわり、パニック時の自傷・他傷行為の事例が多くみられた。身体状況も含め、つまずきや転倒なども多く挙げられている。事業所内の環境整備として机の交換や配置の検討をし、スペースの確保をおこなった。

② 事故について

- ・障害特性や他利用者の不穏な状況が原因と考えられる事例がみられた。空間的に難しいこともあるが、1階と2階のスペースを使用することにより、接触をなるべく避け物理的な距離をとるなど利用者間のトラブルを少なくなるよう対応した。

③ 苦情について

- ・家族からの問い合わせや要望があった。利用者間のトラブルがあり、「気持ちが悪く落ちているので様子を見てほしい。」や公園清掃時に子どもに近づき泣かせてしまうこ

とがあり、「対応してほしい。」などがあった。その他に利用者や家族から要望や問い合わせもあり、必要に応じて対応をおこなった。

3、工賃実績について

工賃支払い総額	1, 3 3 6, 2 4 2 円
平均工賃	3, 2 0 4 円

*工賃支払総額：2021 年度 1 年間に利用者さんに支払った工賃の総額

*平均工賃：2021 年度 1 年間に支払った工賃の総額÷2021 年度 1 年間に工賃を支払った利用者さんの延べ人数

●ハッピーワールドについて

1、事業の目標の振り返り

(1) 新しく軸になる仕事内容を考えていきます。

・7月から休日開所を利用して、「お弁当作り」を定期的を実施し、1年を通じて6回の試作を行うことができた。実施する中で、製造場所の確保、販路先の確保、製造するための時間の確保、利用者さんにより携わってもらうための作業工程の見直し等の課題を発見することもできた。また、利用者さんの発案で、7月からは野菜栽培を開始することもできた。今後は、利用者さんがより充実した日中活動を過ごせるように、既存のプログラム（仕事内容や余暇活動など）をどのように整理して、新しい仕事や取組みを取り入れていくかを検討していく必要があると考えられる。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
ヒヤリ	6	8	13	2	10	9	
事故	7	8	6	9	3	15	
苦情	0	1	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	
ヒヤリ	8	14	6	3	12	8	99
事故	5	6	2	15	5	7	88
苦情	0	0	0	0	0	0	1

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

・建物の構造や設備の配置が要因と考えられる利用者同士が衝突しそうになる事例や、利用者の障害特性や体調の変化等が要因として考えられる事例が多かった。また、利用者の不安定な状況が他の利用者に影響して発生する事例などもあった。事業所内での環境調整が難しい場合は、利用者や安全対策等の確認を行った上で、一人で外出して気分転換を行って貰うなどの対応も実施している。

② 事故について

・利用者の障害特性や体調の変化等が原因として考えられる事例が多かった。また、建物の構造や設備の配置が原因として考えられる事例もあった。職員会議の中で、事例を共有した上で、利用者の障害特性や体調の変化等に起因する事例については、利用者

のアセスメントを深めることで対応等を行っている。また、建物の構造や設備の配置等に起因する事例については、環境アセスメントを深めることで対応を行っている。今後も、事業所全体のアセスメント能力を高めることで対応を行っていく必要があると考えられる。

③ 苦情について

・ご家族からの問い合わせを件数として挙げている。その際は、ご家族の思いを受け止めたうえで丁寧な説明をおこない、納得していただけるように対応した。本人さんの通所時の様子についての問い合わせだったため、後日ご家族にハッピーワールドに来ていただき、本人さんの様子を実際に見ていただいた。その他には、苦情とまではいかないものの、利用者やご家族から要望や問い合わせがあった際には、その都度職員間で共有をおこなって検討し、必要に応じて対応をおこなった。今後も、職員の視点で利用者や家族の意見や要望を捉えるのではなく、利用者や家族の視点で意見や要望に対応する必要があると考えられる。

3、工賃について

工賃支払総額	2,245,100 円
平均工賃	11,396 円

*工賃支払総額：2021 年度 1 年間に利用者さんに支払った工賃の総額

*平均工賃：2021 年度 1 年間に支払った工賃の総額÷2021 年度 1 年間に工賃を支払った利用者さんの延べ人数

● バクのパン屋さんについて

1、事業の目標の振り返り

- (1) 市内、市外相談支援事業所等への情報提供や、支援学校への情報提供をおこない、利用登録者の増加を目指します。
- ・利用にはつながらなかったが、年度内に3名（市内1名、他市2名）の見学の方が来られた。
- (2) バクのパン屋さんの活動場所において、現状を把握し、課題点を明確にします。
- ・パン屋さん工房内の狭さを課題とし、事業計画にて喫茶アウルの休業日での活動を掲げていたが実現が出来なかった為、新年度においては日程を年間スケジュールとして組み込み活動を行うことを確認した。
- (3) パンやクッキーの年間売り上げ420万円を目標として取り組みます。（前年度比プラス20万円）
- ・前年度の年間売り上げは、396万円であったが、今年度は、403万円となっている。コロナ過の影響を受けて、外部への販売や、地域行事での販売がなくなったが微増している、大きな原因としてはバクかふえでの売り上げが増加している。（20年度比110%増・19年度比180%増）が主な原因となっており、地域の方に愛される場になっているのではと思われる。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
ヒヤリ	30	23	25	24	22	16	
事故	2	1	5	5	1	8	
苦情	2	2	1	2	0	2	
月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	
ヒヤリ	20	25	23	19	13	18	258
事故	4	3	3	2	6	1	41
苦情	0	1	0	0	0	1	11

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

パン屋さんの傾向

➡作業に関するもの（調理器具による怪我など）、パン工房内での接触、利用者さん同士の間関係に関するものが件数として多く挙げられている。

かふえの傾向

➡パン屋さん同様に利用者さん同士の間関係に関わるものや利用者や職員とのやり取りに関わるものが中心となっている。

② 事故について

・傾向として他害行為が多く事例として挙げられている。次年度においてはその要因となりうる行動に関し、利用者の理解を深めることや、環境への働きかけ等で対応する。

③ 苦情について

・商品に関する事や利用者さん同士の間関係に関わるものが多い。

3、工賃について

工賃支払総額	1,323,403 円
平均工賃	4,627 円

*工賃支払総額：2021 年度 1 年間に利用者さんに支払った工賃の総額

*平均工賃：2021 年度 1 年間に支払った工賃の総額÷2021 年度 1 年間に工賃を支払った利用者さんの延べ人数

● 光摂ホームについて

1、事業の目標の振り返り

(1) 人材確保のシステム作り（情報通信機器の活用）について

・法人の事業の中で、グループホームのみが年中無休で夜間帯に業務を遂行する事業となっている。そのような中、グループホーム事業の必要性を法人内で共有していくこと、グループホーム事業の人材を確保していくことが事業継続を行う中で重要な位置づけであると考えられる。そのため、昨年度から、人材確保に向けての取り組みを開始した。今年度は、特に、情報通信機器を活用し、WEB研修の実施や、新型コロナウイルス対応についての情報共有などを行った。今後も、情報通信機器の活用による業務の効率化などは継続しながら、非常災害時も含めた人材確保に向けた取組を行っていく必要があると考えられる。

2、ヒヤリ・事故・苦情について

(1) 一年間の件数について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ヒヤリ	8	3	1	4	7	49	
事故	5	2	6	4	8	8	
苦情	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリ	20	18	23	18	12	16	179
事故	3	11	4	5	5	6	67
苦情	0	0	0	0	0	0	0

(2) 内容と振り返りについて

① ヒヤリハットについて

・件数として挙がっているのは、主に利用者が不穏な様子になった際や、それに伴う行為（物を投げる、暴言を吐く等）が多い。今年度は、利用者の身体機能の状況を把握するため、失禁を件数として挙げた。夜間にも失禁があるため、夜間支援の必要性を改めて感じる事ができた。また、入浴支援時に身体の異変に気付くこともあり、生活の場面だからこそ発見することができた件もある。

② 事故について

・利用者の体調不良や、服薬ミス等を件数として挙げている。ホームの2階に自室のある利用者が階段で転倒したため、通院先の医師とも相談し、身体機能の状況等を考慮して自室を1階に移動するといった環境の調整もおこなった。本人さんの力を奪ってしまわな

いよう、必要な範囲で支援をおこなうことを心掛けた。また、ホーム外で起きたトラブルについても、ホーム事務所から本人さんや関係機関と連絡調整をおこないながら、解決に向けて働きかけた。

③ 苦情について

・件数としては挙がっていないが、日常的に利用者からの意見や問い合わせはあり、その都度対応等をおこなってきた。世話人からは、利用者の様子などを詳細に聞き取るようにし、些細な変化にも気付けるように心掛けた。今後も、利用者の立場に寄り添って話を聞いたり対応を考えていく必要がある。

3、通院介助の状況について(光摂ホームのみ)

通院先	30代	40代	50代	60代	70代	小計
精神・神経科	9	8	24	12	0	53
内科	0	16	36	16	15	83
外科	0	3	1	0	0	4
整形外科	0	0	8	0	0	8
皮膚科	5	2	0	0	0	7
婦人科	1	0	2	0	0	3
眼科	0	1	2	0	0	3
泌尿器科	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	28	12	0	40
合計	15 (7.5)	30 (10.0)	101(16.8)	40 (40.0)	15 (15.0)	201(15.4)

* 30代：女性1名 男性1名 40代：女性2名 男性1名 50代：女性5名 男性1名 60代：女性1名 70代：女性1名 *内は各年代での平均通院件数

4、光摂ホーム携帯夜間・休日対応状況について

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者	100	111	84	82	68	121	
職員	10	7	6	6	8	5	
その他	1	3	0	0	0	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	108	106	63	60	44	75	1022
職員	3	4	6	1	3	6	65
その他	1	1	0	0	0	0	7

● 摂津障害者生活支援センターはあねすについて

1. 事業実績報告

① 障害者相談支援事業（摂津市委託事業）

相談者数と障害種別

	実人員	身体障害	重症心身	知的	精神	発達障害	高次脳	その他
障害者	112	77	0	29	7	0	3	11
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	112	77	0	29	7	0	3	11

(実人員<障害種別合計数)

支援内容（支援方法）

訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援 会議	関係機関	その他	計
128	28	48	456	33	11	1289	43	2036



介護給付費関係	訓練等給付費関係	地域生活支援事業	医療機関	行政機関	権利擁護
387	212	4	159	168	15
30.0%	16.4%	0.3%	12.3%	13.0%	1.2%
高齢介護関係	教育・保育関係	就労関係	相談支援	その他	
220	1	48	30	45	
17.1%	0.1%	3.7%	2.3%	3.5%	

支援内容（相談内容）

福祉サービスの 利用等	障害や病状の理 解	健康・医療	不安の解消・情 緒安定	保育・教育	家族関係・人間 関係
814	33	550	143	4	112
家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇 活動	権利擁護	その他
82	90	106	13	30	59
					計 2036

② 指定特定相談支援（計画相談支援（摂津市指定））

計画相談対象者：95名

サービス等利用計画作成件数：106件

継続サービス利用支援件数：320件

③ 一般相談支援（地域相談支援（大阪府指定））

サービス提供の実績なし

④ 障害当事者交流会「とにかくいっぺん集まってみよう会」

開催日数：5回（4月3日、7月3日、11月6日、12月4日、1月8日）

活動内容：創作（ボトルフラワー、アロマキャンドル、クリスマスリース、節分ガーランド）

参加者数：延べ人数27名、実人員7名

2. 事業目標の振り返り

・毎月第1土曜日を開所日とし、平日日中は就労等で時間を作れない相談者に対応できるようにします。第1土曜日は当事者活動も行い、今年度中に作品展を開催します。

→毎月第1土曜日を試行的に開所日としました。就労等により平日の面談が困難な利用者及び家族を主な対象とし、来所面談や自宅訪問、担当者会議、見学同行、認定調査等を実施しました。土曜日開所の希望者が一定数いたため、2022年度からは年末年始を除く第1土曜日を正式な開所日とすることとしました。

第1土曜日の13時半から「とにかくいっぺん集まってみよう会」を開催しました。新型コロナウイルスの影響で活動を自粛した月もありますが、ボランティアの協力も得ながら年5回開催し、創作活動を行うことができました。また今年度からSNSでの作品紹介を始めました。以前は行っていた飲食を伴う交流会、活動紹介と来場者との交流を目的とした作品展は今年度も見合わせる結果となりました。来年度は感染予防対策をした上で、交流会や作品展等のイベントを実施していきたいと考えています。

・情報通信機器を活用して事業の効率化を目指します。

→2020年度から相談支援事業に特化したシステムを導入したことで、相談件数の集約やスケジュール管理等を短時間で効率的にできるようになりました。また、3名の相談支援専門員の活動状況やケース概要等の記録もシステムに保存できるため、情報共有がしやす

くなっています。

はあねすの業務用携帯電話を 3 名の相談支援専門員が交替で持ち、夜間休日にも利用者や家族からの連絡を受けられる体制をとっています。夜間休日の緊急連絡については、SNS を活用して情報共有できています。視覚障害や聴覚障害、上肢麻痺等がある利用者との連絡手段としても SNS を活用しています。

・相談支援専門員が個々に年度目標も持って研修等に参加し、専門知識を高めます。

→今年度は、3 名の相談支援専門員がそれぞれに研修等を受講しました。1 名は月 1 回の頻度で基幹相談支援センターのスーパービジョン (SV) を受けました。SV は来年度も継続予定です。1 名は摂津市の手話講習会を 1 年にわたって受講し、入門編を終了しました。1 名は大阪府の主任相談支援専門員研修を受講し、年度途中から主任相談支援専門員として登録しています。

・情報共有や事例検討等を密に行い、チームとしてケースに対応していきます。

→1 週間に 1 回のスタッフミーティング、月 1 回の職員会議で情報共有を行いました。困難ケースについては 2 名以上の複数体制で対応する等、相談支援専門員の孤立化を防ぐように努めました。

● 地域交流室について

1、事業の目標の振り返り

(1) 日中プログラム開発プロジェクトによる、「その人らしく働く」場の活動の充実を目指し、喫茶アウルの営業日以外の空いている曜日の活用をおこないます。

・月に1度の会議を通じて、今後のアウルの目的や目標について話し合いを行った。また、新たな取組として、店舗の一部を『陽だまり』の展示スペースとして提供する準備も始めている。

＊『陽だまり』：市内障害者施設等の自主製品の広報を目的として始まった取組。開始当初は、正雀駅前に店舗を構え、店舗で喫茶事業を行いながら自主製品の広報（展示や販売等）を行っていたが、店舗を運営するボランティアの確保等が難しくなり、現在は、障害者総合支援センター内での展示のみとなっている。

(2) 地域とのつながりを引き続き強化します。

・今年度も、「大阪しあわせネットワーク」の活動の中で、生活に不安を抱えている方のお手伝いに関わりました。活動を通じて、市内においてまだまだ様々な形で困っている方がいることを再認識しました。

(3) 例年実施している、わたバ会の餅つきが実施出来なかったのもそれに代わる代替案を模索します。

・わたバ会主催による、生活応援グッズ配布会を3回実施することが出来ました。回数を重ねることに参加者が増えており、少しずつではありますが周知されつつあるように感じています。

(4) 子ども食堂の連携をさらに進めます。(一中校区子ども食堂との連携やハッピー食堂 あいのわとの連携強化)

・「ハッピー食堂 あいのわ」が地域の中で少し困っている方の生活支援として始めた生活応援弁当の製造場所として、6月から毎週土曜日に、バクかふえの厨房の提供を始めました。一中校区子ども食堂にも定期的にお手伝いに参加しました。また、大阪府社会福祉協議会が発行している、『ふくしおおさか特別号【684号】』に、「ハッピー食堂 あいのわ」の活動が紹介され、地域交流室も記事に掲載されました。

2、活動報告

(1) 会議等について

活動日	活動内容
4月1日(木)	緑化推進委員会

13日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
18日(日)	わたバ会 生活応援グッズ配布及び無料相談会
5月13日(木)	摂津市民福祉まつり 事務局会議
17日(月)	福祉就職フェア会議
18日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
19日(水)	摂津市民福祉まつり 実行委員会
6月14日(月)	福祉就職フェア会議.
18日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
26日(土)	1中校区子ども食堂
27日(日)	ハッピー食堂 あいのわ
15日(木)	あいのわへのかふえ厨房利用についての打ち合わせ
16日(金)	府社協 特別号 取材
24日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応 (初回)
	1中校区子ども食堂
31日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
3日(火)	緑化推進部会
7日(土)	ハッピー食堂 あいのわ かふえ厨房対応
12日(木)	立体交差事業に伴う懇談
16日(月)	福祉就職フェア
18日(水)	立体交差事業に伴う懇談
22日(日)	わたバ会 生活応援グッズ配布イベント
20日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
28日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
31日(火)	障害者週間 打ち合わせ
9月4日(土)	ハッピー食堂 あいのわ かふえ厨房対応
9月7日(火)	市長との懇談 (ふくしおおさか特別号について)
11日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
17日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
18日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
25日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
28日(火)	三島まちかど広場 お花植え替え
10月2日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
10月3日(日)	福祉就職フェア
9日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
12日(火)	わたバ会

	こども食堂ネットワーク会議
15日(金)	立体交差事業に伴う懇談
	ひこうせん編集会議
16日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
22日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
23日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区 こども食堂
30日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
31日(日)	わたバ会 生活応援グッズ無料配布 わたバ会 打ち合わせ
11月6日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
13日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
17日(水)	立体交差事業に伴う懇談
20日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	わたバ会
26日(金)	立体交差事業に伴う懇談
	日中プログラム開発プロジェクト
27日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応 一中校区 こども食堂
30日(火)	わたバ会
12月2日(木)	障害者週間 展示準備
3日(金)	摂津市人権を考える市民のつどい 展示準備
4日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
15日(水)	立体交差事業に伴う懇談
18日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
23日(木)	わたバ会
24日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
1月6日(木)	わたバ会 (デューデリジェンスについて)
1月8日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
11日(火)	立体交差事業に伴う懇談
15日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
17日(月)	立体交差事業に伴う懇談
18日(火)	立体交差事業に伴う懇談
22日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応

29日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
2月5日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
2月12日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
15(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
19日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
21日(月)	わたバ会
26日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
28日(月)	わたバ会
3月5日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
3月12日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
15日(火)	障害児者とともに地域で生きる会 役員会
18日(金)	日中プログラム開発プロジェクト
19日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
23日(水)	わたば会
24日(木)	緑化推進連絡会
26日(土)	ハッピー食堂 あいのわ摂津 かふえ厨房対応
	一中校区 子ども食堂

(2) 喫茶アウル年間営業日等について

	営業日数等
4月	1日、7日、8日、14日、15日、21日、22日、28日 小計8日
5月	12日、13日、19日、20日、26日、27日 小計6日
6月	2日、3日、9日、10日、16日、17日、23日、24日、30日 小計9日
7月	1日、7日、8日、14日、15日、21日、28日、29日 小計8日
8月	4日、5日、18日、19日、25日、26日 小計6日
9月	1日、2日、8日、9日、15日、16日、22日、29日、30日 小計9日
10月	6日、7日、13日、14日、20日、21日、27日、28日 小計8日
11月	4日、10日、11日、17日、18日、24日、25日 小計7日
12月	1日、2日、8日、9日、15日、16日、22日、23日 小計8日
1月	12日、13日、19日、20日、26日、27日 小計6日
2月	2日、3日、9日、10日、16日、17日、24日 小計7日
3月	2日、3日、10日、11日、16日、17日、23日、24日、30日、31日 小計10日
合計	年間営業日数：92日（*基本的に毎週水曜日と木曜日の営業）